

令和5年度 上尾市立芝川小学校 学校評価書

※評価基準 A…十分達成している B…ほぼ達成している C…やや達成している D…改善する必要がある

領域	評価項目	評価	○ 成果 △ 改善
学 校	学校は、学校・学年だよりやホームページ、授業参観等をとおして、学校の様子を分かりやすく伝えているか	A	○ホームページの特に、学校行事や学年の活動のページの充実により、学校の様子がより保護者に伝わった。
	学校は、お子さんのよさやがんばりを認めているか	A	○学校課題研究で行っているPBSの取組によって、教職員のほめる意識が高まった。
	学校は、教え方や教材を工夫して、分かりやすい授業をしているか	A	○ICTの活用がさらに進み、課題提示や協働的な学習の場面での活用が定着した。
	学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいるか	A	○芝川小いじめクライシスマネジメント宣言が教職員に周知され、校長先生や生徒指導主任を中心に情報共有が図られた。
児 童 の 様 子	お子さんは、元気に楽しく学校に通っているか	A	○保健室対応や別室対応も含め、担任だけでなく組織的な対応を行うことができている。
	お子さんは、進んであいさつのできる子に育っているか	B	○児童会を中心にしたあいさつ運動により、あいさつへの意識が高まった。 △学校でのあいさつはよくできているが、地域や家庭でのあいさつをさらに啓発していく必要がある。
	お子さんは、友だちと仲良く生活をしているか	A	○前述のいじめへの対応の改善により、児童・保護者が学校生活における安心感を獲得している。
	お子さんは、何事にも最後まであきらめずに取り組んでいるか	B	○PBSの取組によって、児童が自分ではできるという意識が育ってきている。
指 導 ・ 働 き 方	「芝川小spirits 認め合い 助け合い 高め合い」を基盤に組織で動くことができたか	A	○教職員間で助け合うことができている。また、組織的に課題に取り組むことができている。
	あいさつと返事、メリハリのある行動について指導を徹底することができたか	B	○あいさつについての指導は意識して行っている様子が見られる。 △返事については、さらに学級での指導を繰り返して定着させる必要がある。
	主体的・対話的で深い学びの視点に立った学びの工夫に努めることができたか	A	○ICT研修等の充実により、協働的な学習の場面でのICTの活用の共有化が図られている。

※評価基準 A…十分達成している B…ほぼ達成している C…やや達成している D…改善する必要がある

領域	評価項目	評価	○ 成果 △ 改善
指導・働き方	時間外在校等時間の削減を目指し、働き方を変える意識をもつことができたか	B	△業務の改善が図られ、システム上の働き方改革はだいぶ進んでいる。学校として個人の意識をどう変えていくかが課題である。
	元気タイムを有効に活用することができたか	A	○感染症の制限がほとんどなくなり、ふれあいタイムを中心に異学年交流がより進んでいる。
安心安全	一人一人のよさを認め、かけがえのない存在として互いに大切にすることの心育をすることができたか	A	○道徳の研究発表会の実施による道徳科の授業の充実による心の育成と、PBSの取組で児童の自己肯定感が少しずつ高まってきている。
	生徒指導・教育相談・特別支援教育における校内体制を充実させることができたか	A	○前年度と変わらずあてはまるとややあてはまるの回答で100%である。昨年度からの組織的な対応が定着している。
	安心安全な学校を構築するよう努めることができたか	A	○前年度と変わらずあてはまるとややあてはまるの回答で100%である。安心して働くことのできる環境づくりが継続してできている。
地域連携	ゲストティーチャー、学校応援団、幼稚園保育園、中学校等地域との連携を図った教育活動を行うことができたか	A	○今年度は中学校との研修会も実施したり、学校運営協議会の方々との合同研修の機会も増えたり、ゲストティーチャーの取組だけでなくより地域との連携を意識した活動を増やすことができている。
	たよりやホームページ等保護者地域に積極的に情報提供を行うことができたか	A	○学年の活動のページを多くの職員が分担して作成することにより、情報発信への意識が高まり、積極的な情報提供につながっている。